

# もと 夏期学級の基本

— 夏期学級指導要綱と生活指導について —





# 夏期学級の基本

— 夏期学級指導要綱と生活指導について —

## はじめに

昭和 26 年(1951)、出口すみこ二代教主さまのお示しにより、「大本少年夏期学級」はうぶごえを挙げました。

今までに多くの信仰後継者を輩出し続けてきた夏期学級は、<sup>かなめ</sup>後継者育成の要の行事の一つであるとともに、各地方機関においても欠かせない大切な行事へと発展していきました。

平成 26 (2014) 年は、大本青年部発足 50 周年の節目の年です。

この節目を契機と捉え「大本少年夏期学級」を見つめ直すとともに、ポイントとなる部分を夏期学級に携わるすべての方々と改めて学ばせていただきたく、このたび「夏期学級指導要綱」を作成しました。

内容は、夏期学級の意義や目的、少年への生活指導の注意点、リーダーの心得などを紹介いたしました。

機関により規模やプログラム内容は異なりますが、「夏期学級指導要綱」が夏期学級を盛会に導く、指針となれば幸いに存じます。

大本青年部



— 夏期学級に携わる皆さんへ —

## 教主さまのご教示

教主さまは「第 101 回全国青年部長会議（平成 16 年）」において、私たち青年に一人ひとりの価値と責任感、誇りをもって活動することの大切さをお示しくださいました。まずは、神さまへのお祈りを欠かさず、中心を忘れる事のないよう青年部活動や日々の生活を努めさせていただきましょう。

下記の教主さまのお言葉を熟読し、青年部活動、夏期学級に精一杯お仕えさせていただきましょう。

『私一人ぐらいがいなくてもいいのではないか』ということは決して思わないことです。一人が欠けてもだめなのです。『私がやらなければ、日本、世界がたいへんなことになる』というくらいの気持ちでいていただくことが、今後活動していく上で大事なことだと思います。

何よりも一番大切なことは“中心を忘れない”ということです。

どんなささいな行事であってもまず初めに大神さまにご奉告申し上げ、ご守護をお願いし、そして終わったら必ずお礼を申し上げる。

このことは青年部活動だけでなく、全てのことにつながりますので、今後の青年部活動やそれぞれのお仕事、学校においても、そういう気持ちでご活躍いただけたら大変嬉しく思います。

とにかく神さまのお光をいただいて、何事も精いっぱいさせていただくことが大事です。

いろいろ苦労も多いと思いますが、苦労が多ければ多いほど感動も大きいものです。皆さんとともにがんばらせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

（平成 16 年 11 月 21 日「第 101 回全国青年部長会議」教主さまご挨拶 要旨）

## 〈目次〉

<b>教主さまのご教示</b>	<b>5</b>
<b>二代教主さまのご教示</b>	<b>7</b>
<b>四代教主さまのご教示</b>	<b>9</b>
<b>夏期学級の目的</b>	<b>11</b>
—神性の開発—	
<b>夏期学級の実践事項</b>	<b>12</b>
1、お礼拝	13
2、あいさつ	16
3、はきものの始末	17
4、三首のお歌	19
<b>班付リーダーの重要性</b>	<b>21</b>
<b>「4つの大切なこと」を 全体で実践する</b>	<b>22</b>
<b>神性を芽生えさせるために</b>	<b>23</b>
—少年との接し方と指導の心得—	
<b>リーダーの心得</b>	<b>25</b>
規律正しい生活を送るために	29
<b>団体生活で大切なこと</b>	<b>29</b>
<b>大本のみ教えを 伝える場をつくる</b>	<b>31</b>
<b>生活指導の仕方（項目別）</b>	<b>32</b>
<b>危機管理について</b>	<b>36</b>
<b>補　　足</b>	<b>37</b>
<b>夏期学級感想文集より</b>	<b>43</b>

# 二代教主さまのご教示

## — 夏期学級開催の意義 —

「大本少年夏期学級」は、出口すみこ二代教主さまのお言葉により、その開催に大きな意義のあることが示されました。

昭和 26 年 3 月の春休み。綾部梅松苑で、綾部を中心とし丹波、丹後、  
但馬の大本信徒の子どもたちを集めて少年対象の研修会が催されました。  
子どもたちの参加は予想を大きく上回り 79 人。信徒子弟だけでなく、一  
般からも参加を募り、地元の人には「大本さんに預けたら安心だ」と言わ  
れて、未信徒の子どもたちも多く参加しました。

少年研修会の第 2 回はその年 8 月の夏休みに催され、73 人の子ども  
たちが参加。しかしこの研修会を手伝った青年たちは、ほとんどが勤めを  
もっていたため、「こんなにしんどいのはかなわない。これで最後にしよ  
うか」と話し合ったこともあったそうです。

その閉講の時、二代さまは参加者一同との記念撮影に入られて、一緒に  
ご会食。二代さまは参加した子どもたち全員と、係の青年たち一人ひとり  
にご直筆の短冊をお下げになりました。思わずおかげを頂き、子どもたち  
をはじめ青年たちも大喜びで、研修会は幕を閉じました。

研修会に先だち、二代さまからは次のようなお言葉もあったそうです。

“信者さんたちの子どもを、小さなうちから神さまを信じる立派な日本  
人にしなければなりませんし、立派な人を世に送り出さねば大本も発展しません”

この少年研修会が回を重ね、第 4 回を迎えた昭和 28 年夏、「少年夏期  
学級」との名称で、8 月 1 日から 6 日間、綾部、亀岡両聖地を会場に開  
催されました。遠近各地から、総勢 112 人の少年少女が聖地に集いました。

二代さまはその前年に天にお帰りになっていましたが、二代さまのお気  
持ちは、歴代教主さまを通してその後も受け継がれ、今では聖地だけでな  
く全国各地で“神の子”を育てる夏期学級が、毎年催されています。

（参照文献：『おほもと』誌平成 11 年 5 月号「歴史を語るこの一点  
……二代さまと夏期学級」より）

「大本少年夏期学級」は“のちの大本のため、そして日本のため”と前述のごとく二代教主さまが示されていますように、後継者育成において極めて重要な役割を果たして来ているのが夏期学級です。

夏期学級運営に携われた方は、きっと感じられたことがあるでしょう。

“夏期学級ってすごい！” “夏期学級って素晴らしい！” ——と。

夏期学級の体験で、子どもたちの瞳が輝き、そして表情までもときに変わってきます。

その源は、どこにあるのでしょうか。

それは夏期学級が目的とする「神性の開発」にあるのではないでしょうか。

第一に、神さまを中心とした生活を送らせていただくこと。その中で規則正しい集団生活があり、神友とともにより良く学び、遊ぶことで、かけがえのない体験・体得をさせていただくことができます。

今、子どもたちを取り巻く生活環境や家庭環境は大きく変わってきています。

このような時代だからこそ、あらためて夏期学級の意義が求められています。

「朝夕のお礼拝」にはじまり、「あいさつ」や「はきものの始末」の実践は、子どもたちの「感謝の心」や「思いやりの心」<sup>はぐく</sup>を育むことでしょう。

夏期学級が 60 年以上伝え続けてきたものは、今の時代にこそ大切なことばかりです。

私たちはこの夏期学級を全国各地で開催させていただき、実践をとおして大切なことを伝えていくことが、後継者育成としての重要な使命の一つを果たすことになるのではないでしょうか。

## POINT

- i. 「夏期学級」は大本で最も長い歴史をもつ研修会
- ii. 「夏期学級」は後継者育成という大切なご神業
- iii. 「夏期学級」の目的は“神性の開発”
- iv. 「夏期学級」は大切なことを“実践”する場

# 四代教主さまのご教示

## 「朝夕のお祈り はきものの始末」

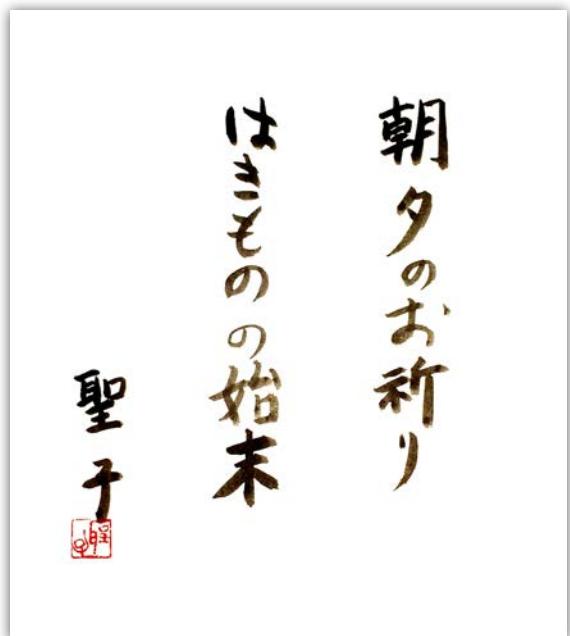
—— 昨年（平成3年）、夏期学級記念品として教主さまご染筆の色紙『朝夕のお祈り はきものの始末』をお下げいただきました

**四代教主さま** 私は、その二点がきちんと身につければたいへん結構だと思います。

大本の夏期学級ですから『朝夕のお祈り』は基本であって、それをはずしては意味をなしません。

もう一点は『はきものの始末』。簡単なようですが、これも実際に身につけることは容易ではありません。

あれもこれも詰め込んだら子どもはくたびれてしまいになります。基本的には、保育園でゆっくり遊ぶようなかんじでいいのです。そのかわり、一つ、二つの目標を決めて、それだけは完全にしてもらう。ほかのことはいいけど、これだけは夏期学級でおぼえて帰ってください、というようにすればいいと思います。



—— 生活指導という点からはいかがでしょうか

**四代教主さま** 先ほどの二点ははずすことのできない大切な基本ですが、それ以外では、食事の仕方、お風呂の入り方、朝夕の「おはようございます」「おやすみなさい」のあいさつ。また「ありがとうございました」「すみません」の礼儀、正しい言葉。ほんとうに日常的なことであり、人としての常識的なことですが、それをきちんと教えてほしいと思います。

—— 夏期学級の開催に際しては、青年部だけにとどまらず多くの人の協力が必要になっています。

**四代教主さま** 青年部を育て、指導していく上の人々の協力は必要ですし、積極的に手助けしてほしいと思います。しかし、それを受けた青年部のほうとしては「手伝って当たり前」という姿勢では困ります。それに対する感謝の気持ちをもち、つね日ごろから手伝ってもらえるような信頼関係をつちかっておかなくてはならないと思います。

たとえば直心会、みどり会（現在の青松会）の人でも、家庭があるなかで、それを犠牲にして手伝いにきてくれているのです。それを忘れてはいけません。（後略）

——多くの人のご奉仕の上に成り立つ夏期学級であるだけに、行事をおろそかにするわけにはまいりませんね。

**四代教主さま** 大本の次代を担う子どもたちは本当に大切です。青年期を過ぎて、信仰のことを親がいくら言っても聞いてもらえません。かえって反発するくらいでしょう。素直に聞いてくれるのは夏期学級に参加している年代までです。そこがいちばん大事な時期です。ですからお世話をたいへんでしょうが、みんなで力をあわせてがんばっていただきたいと思います。

立派に育てることができたら、それは明日の日本の国に影響して来るものと思います。こうして育った一人ひとりが集まれば、大きな力になるのですから。

『おほもと』誌 平成4年7月号 四代教主さまインタビュー記事より

## 夏期学級の基本

### 朝夕のお祈り

### はきものの始末

子どもたちに

きちんと教えること

### 生活指導

### あいさつと礼儀

- ・食事の仕方
- ・お風呂の入り方 等

## 夏期学級開催に向けて

夏期学級は機関を挙げて開催する

信頼関係



みんなで力を合わせて子どもを立派に育てる



明日の日本の国に影響

大事な時期

- ・夏期学級に参加対象者は  
素直に聞いてくれる年代

一人ひとりが集まれば  
大きな力となる



“大本の次代を担う大切な子どもたち”

# 夏期学級の目的

## —神性の開発—

神性を芽生えさせる(神の子の育成)

「人は神の子・神の宮」

私たちは神の子です。

この夏期学級を通して神さまに親しみ、水のありがたさ、食べ物の大切さを知り感謝の心を育みましょう。

そして、この夏期学級の団体生活の中で、規律正しく責任を持って行動し、美しい心と健康な体を養いましょう。

つまり……

神さまに親しみ、規律正しい団体生活の中で感謝の心を育もう

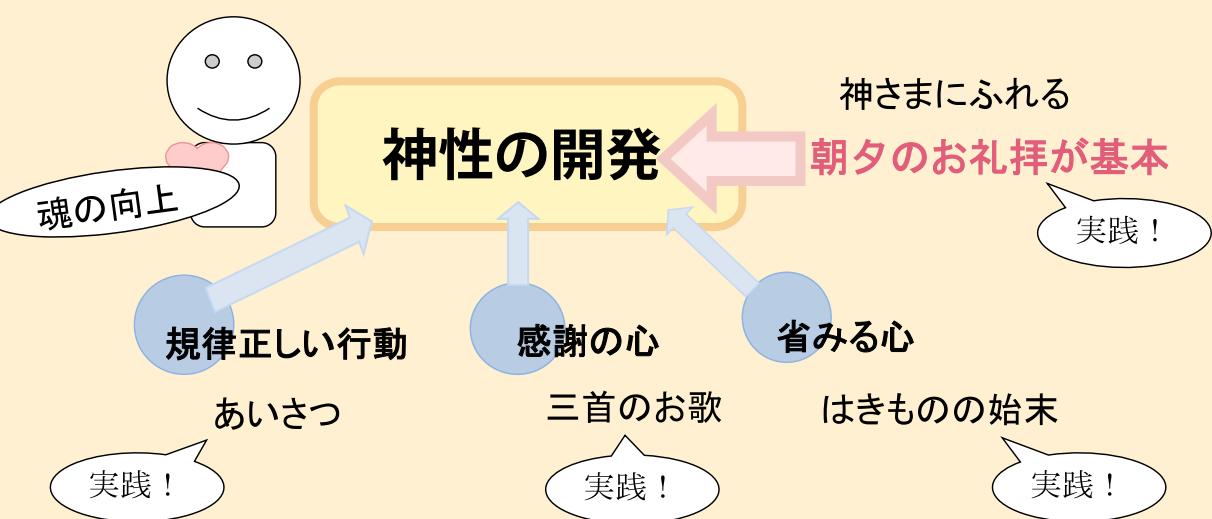
### ◎ 神性の開発をするために「何を教えるか」「何を伝えるか」

夏期学級では、神さまを中心とした生活を行います。

神さまにふれる意味でも朝夕のお礼拝が基本となります。

また、神性を芽生えさせるために、感謝の心、規律正しい行動を少年に教え、伝えます。

### 「何を教えるか」「何を伝えるか」



# 夏期学級の実践事項

## — 4 つの大切なこと —

少年が本来、神さまからいただいている  
“清く美しいこころ”や  
“自然のお恵みに感謝する心”を開発するために  
夏期学級で以下の4つの大切なことを必ず実践します。



少年が本来、神さまからいただいている  
“清く美しいこころ”や  
“自然のお恵みに感謝する心”を開発する

### 4 つのこと + 班付けリーダー

実践

1. お礼拝 <13 p. 参照>
2. あいさつ <16 p. 参照>
3. はきものの始末 <17 p. 参照>
4. 三首のお歌 <19 p. 参照>

+

リーダーの  
重要性

上記、「四つの大切なこと」を実施するにあたって  
「班付リーダー」は大切です <21 p. 参照>

# 1、お礼拝

夏期学級では神さまを中心とした生活を送るため、朝夕のお祈りを基本とします。  
お礼拝の仕方と意義は、開催奉告祭や開会式、はじめのお礼拝の前に行いましょう。

神さまを中心とした夏期学級へ

はじめに…

お礼拝の意義と  
仕方を伝える



お礼拝いつする？

朝拝 夕拝

講話（前後）

開会式 閉会式

開催奉告祭や開会式、  
はじめのお礼拝の前に行う

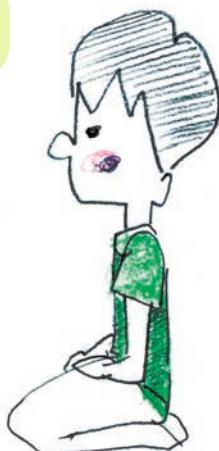
伝えよう

◎ お礼拝の意義【説明例】

- 1、いつも神さまにお守りいただいていることに心から感謝します。
- 2、私たちの心が清らかな大きな心になって、世のため人のために尽くすことのできる立派な人となるようお祈りします。
- 3、私たちをはじめ、世界中の人々が安心して生活できる平和な世の中になるようお祈りします。

## ◎ お礼拝の作法

せい さ  
正 座



すわって「気をつけ！」の姿勢を正座といいます。

からだをまっすぐにし両膝の間に片膝がひざ  
入るくらいの間隔をあける（女性は自然のまま）。足は左足の親指を下に、右足の親指を上に重ね、目線は自然のまま前方むけて、あごを引き、背筋を伸ばします。

ゆう  
揖



正座し叉手<sup>さじゅ</sup>【※】をしたまま頭と上体をまっすぐにし腰から30度おりまげます。これを揖<sup>ゆう</sup>といいます。そしてこの姿勢から正座の姿勢に戻ります。

【※叉手】左手の四指を上に、右手の四指を下に交差して組み、下腹部あたりに置くこと

はい  
拝



正座から上体を90度にふせることをいいます。叉手をしている手は、折り曲げると同時に、膝の上をすべらせ、両手の甲は畳の表面につけ両ヒジをはって軽く畳につけます。

畳と顔との間は20cmこの状態でおよそ一呼吸半し、静かに上体を起こしながら、両手は膝の上をすりながら叉手をし、もとの正座の姿勢にかえります。

へい ふく  
平 伏

正座の姿勢から揖をしないですぐに90度に伏することを平伏といいます。平伏の時間は一定せず、祈願の間とか、先達の祝詞奏上のせんだつ  
間、お祓いをうける時などに行います。  
はら

## はくしゅ 拍手



両手を合掌し、鼻の高さに上げ、「く」の字型の角度に腕をまげます。つづいて右手を左手の指の第二関節までひきます。両手は肩幅よりややひろく、静かに左右に開いて手をうちあわせます。1回1回同じ早さで4回（祖靈さまは2回）うちあわせます。

拍手が終われば、第二関節までひいた右手を左手にそろえ、叉手をしてつぎの動作にうつります。

## のりと 祝詞



祝詞は神さまに感謝と祈願の言葉が書かれています。置くときは祝詞袋の上や膝の上などにおいて、丁寧に扱いましょう。祝詞奏上は、先達のテンポにあわせながら、声をそろえて、元気いっぱいに奏上させていただきましょう。

## POINT

- i. お礼拝の意義と仕方は開催奉告祭や開会式、はじめのお礼拝の前に行いましょう。
- ii. キャンプ場等での野外で開催する場合は、お礼拝の対象をあらかじめ決めておきましょう。（ご神号幅やご神旗を掛ける。聖地、神の家の方角に向かってお礼拝するなど）
- iii. ご神前に足をむけている子がいたら注意しましょう。

（※夏期学級開催奉告祭の持ち方…37 ページ参照）

（※夏期行事成功祈願祭祝詞／夏期学級開催奉告祭祝詞…38 ページ参照）

## 2、あいさつ

「おはようございます」、「こんにちは」、「こんばんは」……。

何かをしてもらったら「ありがとうございます」。「あいさつ」は気持ちのよい人間関係をつくる基本です。呼ばれたらしっかり返事をすることも含め、「あいさつ」を徹底することによって、大家族的な雰囲気をつくりあげ、気持ちのよい団体生活を目指します。

### 「あいさつ」の徹底で大家族的な生活へ

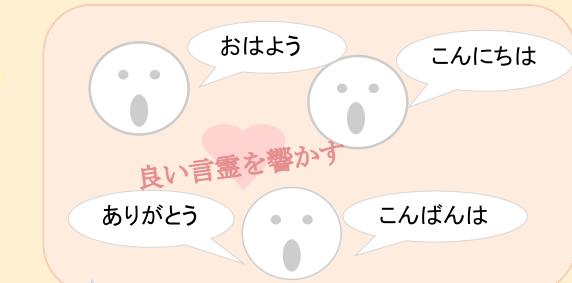
「あいさつ」は気持ちのいい人間関係をつくる基本の言葉 → 気持ちの良い団体生活  
大家族的な雰囲気

「あいさつ」の徹底

をすると…

善言美詞

言葉 思いやの言葉  
気づかいの言葉



が言える  
ようになって…

行動

思いやの行動  
気づかいの行動  
ができる  
ように!!

伝えよう

#### ◎ あいさつの大切さ【説明例】

朝起きたら「おはようございます」、昼間すれ違ったら「こんにちは」。

夜に会ったら「こんばんは」。

何かをしてもらったら「ありがとうございます」。

「あいさつ」はみんなと仲良くなるための基本の言葉です。

気持ちがいい「あいさつ」ができると、

気持ちのよい夏期学級になります。

元気のいい「あいさつ」ができると、元気ができる夏期学級になります。

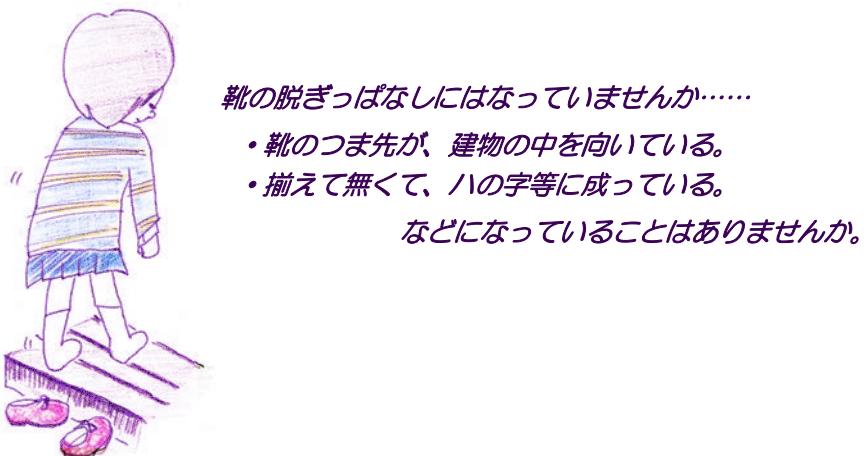
「ありがとう」がいっぱい言えると、思いやのある夏期学級になります。

楽しい夏期学級になるように「あいさつ」をしっかりしましょうね。



### 3、はきものの始末

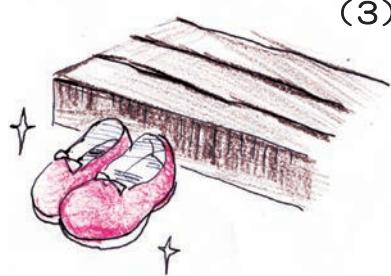
「はきものの始末」を実践します。はきものを揃えることは、自分の足元を見直し、振り返ることにつながり、省みる心を養います。まずは自分のはきものを、きちんと揃えることができるようになること。他の人はきものも揃えてあげることができるよう教えてあげましょう。また、はきものを揃える作法——靴を脱いで、後ろを振り返って、しゃがみこみながら、手で靴をそろえる一連の作法——も教えます。



#### ◎ 正しい履き物の揃え方は、次の通りです。



- (1) 玄関から入ったら、そのまま前向きで靴を脱いで上がり、振り返ります。
- (2) 後ろ向きに振り返る時は、家の人に対してなるべくお尻を向けないように注意しながら少し斜め向きになります。



- (3) つま先が外側を向くように靴の向きを変えて置きます。

つま先が外側を向くように靴を置くのは基本ですが、よくやりがちのが、くるっと向きを変えて靴を脱ぐ方法。この方法だと、つま先が外側を向いた状態で靴を脱ぐことができるので、靴の向きをわざわざ変える手間が省けますが、実は、その家人に対するお尻を向けてしまうため、失礼にあたります。

## はきものをそろえて “振り返る”

### 「足元の靴を振り返って揃える」



#### 「脚下照顧」

【意味】  
自分の足元をよくよく見よとい  
う意。他に向かって理屈を言う  
前にまず自分の足元を見て自分  
のことをよく反省すべきこと。

足元に気をつける  
我が身を振り返る  
我が心を振り返る

省みる心



はきものを  
揃えると  
「心」もそろう

## 伝えよう

### ◎ はきものの始末 【説明例】

「はきものの始末」ができるようになります。  
まずは、自分の靴を脱いだらキチンと揃えてください。  
靴が脱ぎっぱなしで散らかっていると、きれいではありません。  
逆に、靴が揃っていたら、とても気持ちがいいです。  
はきものを揃えておくと、靴をさっと履くことができます。  
はきものを揃えると、心もすがすがしくなります。  
「はきものを揃える」一ちょっとした心遣いで、気持ちのいい雰囲気を  
つくることができます。  
もし、他の人ははきものが揃っていないかったら、揃えてあげることで  
きるようになります。

## 4、三首のお歌

- 天の恩土のめぐみに生れたる菜乃葉一枚むだに捨てまじ
- 一つぶの米のなかにも三体の神ゐますことを夢な忘れそ
- 火のご恩水のおめぐみ土の恩これが天地の神のみすがた

食事の前には、感謝の気持ちを込めて「三首のお歌」を唱えてから、「いただきます」をします。「いただきます」と「ごちそうさま」を行うときは、背筋を伸ばして姿勢を正し、参加者全員で揃って行うようにしましょう。

### 三首のお歌を唱える意味は――



感謝の気持ちで  
食事をいただく



### 食事は大切な時間 「いただきます」の前に

- ①全体を静かにさせ注目させる
- ②正座をさせて、背筋を伸ばさせる
- ③全員の体勢が整ってから手を合わせて  
「三首のお歌」を拝唱の後、「いただきます」  
(2拍手)

リーダー、大人は  
手本となるように  
大きな声をだしましょう。



## POINT

- i. リーダー、大人は手本となるように大きな声をだしましょう。
- ii. 三首のお歌は模造紙等に書いたり、テキストにのせるなど工夫をしましょう。
- iii. 食事が終わっても、「ごちそうさま」が終わるまでは、席を立つたり、遊ばないようにさせましょう。

## 伝えよう

### ◎ 三首のお歌【説明例】

ごはんをいただく前は、感謝の気持ちを込めて「三首のお歌」を唱えます。  
一粒のお米でさえも、神さまのお恵みがなければいただくことはできません。  
火（日）と水と土があってはじめて、お米や野菜や果物が育ちます。  
火（日）と水と土は人間が作りだすことはできません。  
食事をいただくことは神さまのお恵みである命を食することです。  
常に感謝の気持ちを持っていただきましょう。



# 班付リーダーの重要性

4つのことを実施するにあたって  
大切なのが「班付リーダー」

班員とともに生活し、同じ時間を共有するリーダーは、少年の手本となり鑑となります。少年と直接、接することによって、きめ細かい指導も行うことができます。少年はリーダーの姿を見て、教えられ、励まされ、大切なことを学んでいきます。

リーダーは少年に愛情と思いやりを持って接してください。リーダーが積極的に楽しむ姿を見て、少年も楽しむことができます。リーダーの笑顔をみて少年は安心します。

## リーダーは生活指導の“最前線”!!

### 4つの大切なこと

実践します！

リーダー

愛情

リーダーは少年の手本



班員とともに生活  
(時間を共有)

リーダーの笑顔  
リーダーの言葉  
リーダーの行動

リーダーを見て学ぶ

大切なことを学ぶ

### ◎ リーダーを確保しよう

青年部員が不足している機関は、なるべく早くから声かけをし、リーダーを確保できるように努めましょう。また、どうしても確保できなかった場合は、青年部OBや青松会の方に協力してもらうなど、リーダーの確保を目指してください。



# 「4つの大切なこと」を全体で実践する

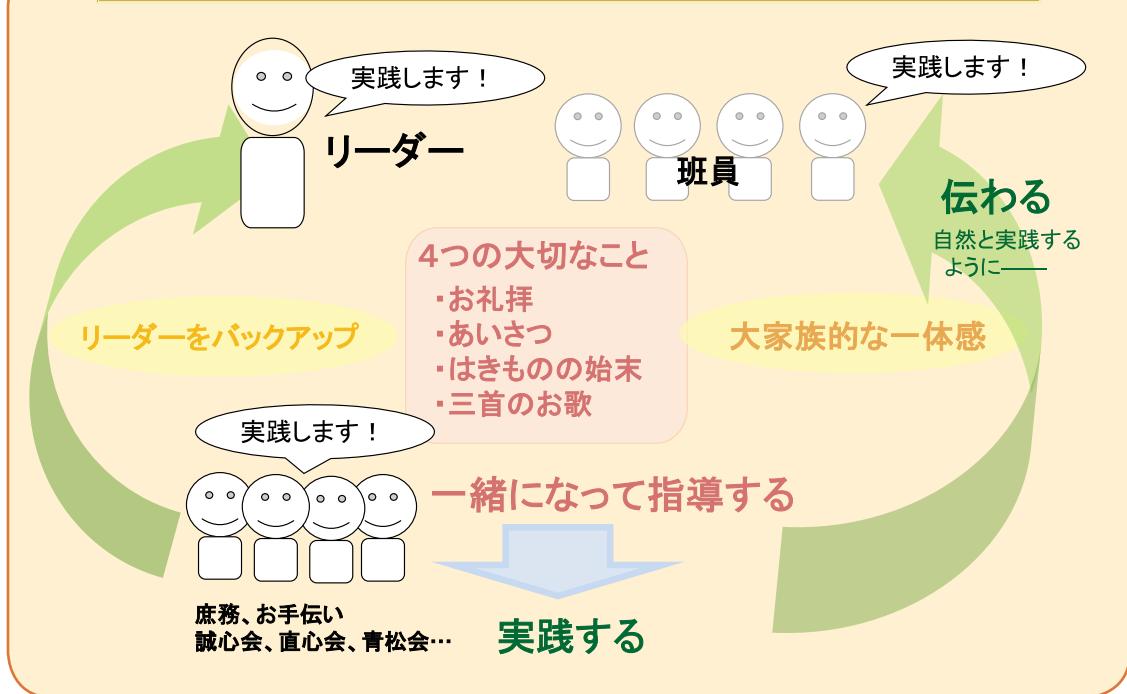
「4つの大切なこと」はリーダー、少年のみならず、庶務をはじめ、誠心会、直心会、青松会のお手伝いの方も含め、参加者全体が自ら実践する必要があります。

いくらリーダーが「はきもの」を揃えさせたとしても、他の大人たちが揃えていなかつたら説得力もなくなり、指導ができにくくなります。

直接、子どもたちに生活指導を行うのはチーフリーダーでありリーダーです。

しかし、周りの大人たちも子どもたちの手本となるべく「4つの大切なこと」を実践することによって生活指導をバックアップすることができます。その雰囲気が伝われば子どもたちも見習い、自然とできるようになります。

## 実践は班付リーダーだけでなく――



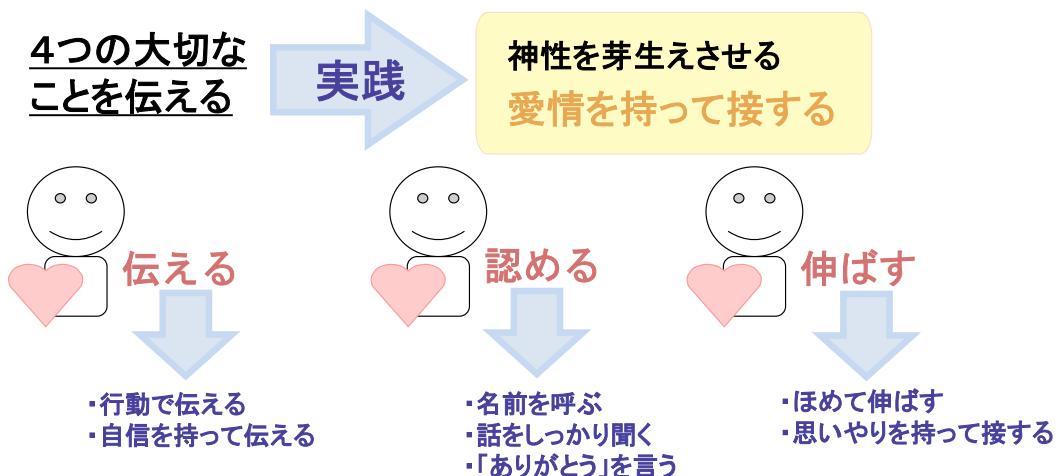
## POINT

事前説明会を行う……打ち合わせ時 or 開催当日など

- 準備にあたって、ご協力いただいた御礼と、お手伝いで参加していただく御礼を述べる。
- 夏期学級での注意事項、伝達事項にあわせて夏期学級の実践目標「4つの大切なこと」をお伝えし、実践していただくようお願いする。
- 注意事項を含め、実践目標「4つの大切なこと」をのせた、用紙を配るか、プログラム詳細等にのせる。

# 神性を芽生えさせるために

## — 少年との接し方と指導の心得 —



### 伝える

#### ◎ 子どもたちの手本となるよう意識して行動すること

祝詞の声や返事、あいさつは大きな声で。  
はきものの始末も率先して行います。

#### ◎ 自信を持って伝える

夏期学級でお伝えすることは参加者の今後の人生にとって大切なことばかりです。正しいことをお伝えするのですから遠慮せず、自信をもつて生活指導にあたってください。

### 認める

#### ◎ 子どもの名前は早く覚えて、すぐに名前を呼ぶこと

子どもたちは、名前を呼んでくれるだけで単純に嬉しいものです。  
名前を呼ぶことによって親近感がわき、距離がぐっと縮まります。

#### ◎ 子どもの話をしっかり聞く

子どもがしゃべりかけてきた時は、しっかりと話を聞いてあげましょう。たくさん聞いてあげることで、子どもが心を開き、子どもたちとの信頼関係を築くことができます。

#### ◎ 「ありがとう」をたくさん言う

子どもたちが何かをしてくれたときや、手伝ってくれたときは「ありがとう」と言いましょう。少しのことでも「ありがとう」を伝えることで子どもたちの自尊心は満たされます。いいことをしたら、嬉しくなるという気持ちが芽生え、行動も変わってきます。「ありがとう」の善言美詞をたくさん活用しましょう。

## 伸ばす

### ◎ ほめて伸ばす

褒められれば褒められた分だけ子どもたちは伸びていきます。

たくさん褒められると自信をつけ、行動も積極的になります。

子どもたちの長所や行動のいいところを見つけてどんどん褒めましょう。

### ◎ 思いやりのある注意、叱り方を

叱るときはその子のことを思って叱りましょう。決して感情的に叱ってはいけません。

また、特定の子どもをみんなの前で叱ると自尊心が傷つきます。後で、一人だけのときに優しく語りかけるように注意をするなど子どものことを思いやる気持ちが大切です。

あまり注意し過ぎると子どもは疲弊してしまいます。

間違ったことを改めるまで少しまってあげる余裕も必要です。



# リーダーの心得

## ◎ 自主性を重んじる

「だんじて、たよりこれ（改心）を強いてはならぬ。  
人間には各自に自主の心がある。この心が眞に動く  
のでなくては、その人は眞にため直るものではない。  
……自分で靈的につまずいて、自分で悟るのでなく  
ては眞の悟りではない」

(尊師さま著『信仰覚書』第4巻「神意とは内心の切実な叫び」)

## ◎ 反省心を導く

「おこたしまつ  
省みることを怠る人ほど、始末におえぬものはない。  
省みねば悟ることがないから、従って進境しんきょうがない。  
“な為せ、省みよ、悟れ”  
これが、靈魂を進歩さす上にとっての唯一のモットー  
だ」

(尊師さま著『信仰覚書』第4巻「為せ 省みよ 悟れ」)  
[※進境=進歩して到達した段階の心の状態]

人間の個性や性格は違うようにリーダーも  
人それぞれです。

無理に理想的なリーダーを演じるよりも、  
むしろ自然体でいるほうが子どもたちも安心  
できるものです。自分の長所を生かし、自分  
色のリーダーを目指していきましょう。

そのためには、それ相応の努力も必要です。  
リーダーは班員の見本であり、鑑でもあります。リーダー自らが夏期学級で学ぶ大切なこ  
とを実践し、あたたかい思いやりの心をもつ  
て、班員と関わってください。大事なのは生  
活面における信仰的な指導です。共に学ぶ気





持ちで取り組んでいきましょう。リーダーのひたむきさや誠実さは、確実に子どもたちの心に伝わっていきます。

子どもたちの長所に気づいてたくさん褒めてあげることもリーダーの役目です。

子どもたちのことを信じて接していると子どもたちの良いところに気づくはずです。子ども们は褒められた分だけ伸びます。「子ども」への愛情が信頼を築きあげることに繋がっていくのです。

ときには叱らなければならないこともあるでしょう。しかし、その子を思うほんとうの気持ちがあれば必ず伝わります。自信を持って指導にあたってください。

「子ども」たちの元気が夏期学級の源です。

「子ども」たちを盛り上げ一緒に楽しんで、素晴らしい夏期学級をつくりあげましょう。

リーダーの経験や苦労は必ずやリーダー自身を成長させてくれます。

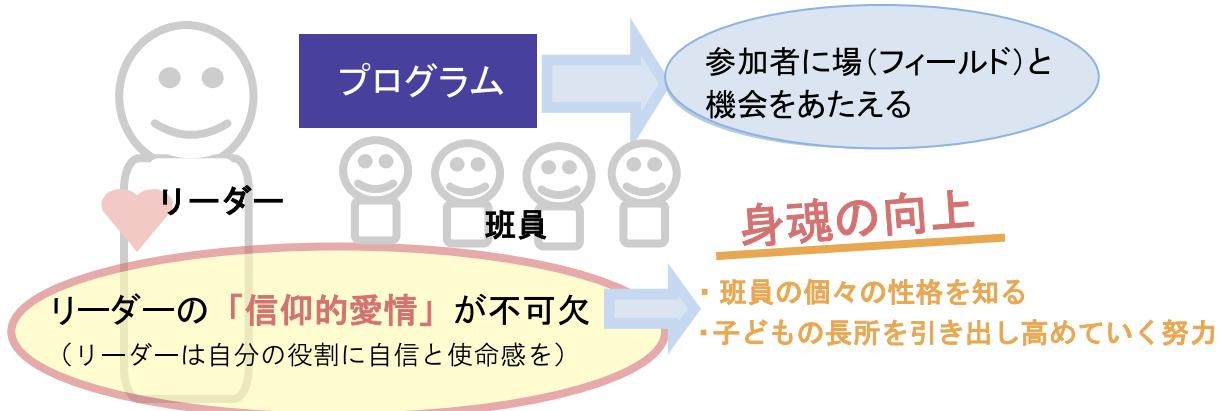
何事も明るく前向きに考え、積極的に子どもたちに接していきましょう。

リーダーには必ずご守護があります。

「おのが身をいたはる如く他人の身をいたはる心に神やどるなり  
人よかれと思ふ心の一筋に尽くす誠に神やどるなり  
相当の苦心と努力ないとこへ神の光は流れざるなり」

(尊師さま著『信仰覚書』第7巻「実行第一、神第一」より)





## POINT

子どもたちの自主性を引き出すために……  
ムードづくりをこころがける

- i. ムードを利用して参加者たちの自主性を引き出す
- ii. ムード作り（演出）を重視し、リーダー自身がその気になる（自らも楽しみ、自主的に努力できるムードをつくる）
- iii. ムードが悪い場合は「参加者たちの自主的努力で良くする」ことの重要性を指導する



- 子どもから好感をもたれるようにスッキリとした服装が望ましい。特に神前礼拝の時は、キチンとする。
- リーダーは必ず時計を所持しておくこと。（防水時計が望ましい）



## ◎ リーダーの心構え

- どんな話でも聞いてもらえる人だという印象を与える。
- 何事にも上手にやらないこと。時には失敗もしてみせて、気持ちに余裕をもたす。
- やさしくにこやかに接する。
- 元気で、はつらつとした気持ちと態度。
- けじめをつける。ここがどういう場所であるか、常に考えて行動する。
- 子どもはリーダーをよく見ている。子どもを注意するだけでなく、自分も言心行一致の生活をしなくてはならない。
- ジェスチャー交じりで話をしたり、時にはおどけてみせるなど、親しみを持つてもらえるように、いろいろな工夫をして子どもに接する。

## ◎ 班員との接し方

- 班員の名前を早く覚えること。名を呼ぶと、親近感がわく。
- 小さい子どもには、手を握ったり、頭をなでてやったり体にふれてやるとよい。
- 特定の班員と親しくしたり、話しかける回数を多くもたないこと。
- 一人ひとりに気を配って積極的に話しかけてあげる。自分に関心があるということで安心する。
- 班員にほかの子どもの悪口を絶対に言ってはならない。つげ口をしてきても、見直し聞き直してやることが大切である。
- 悪いことはあとからそっと一人だけのときに注意し、良いことは全員の前でほめる。
- 子どもたちを見おろすような位置から話しかけてはいけない。
- 悲観的な暗い言葉づかいをしない。「ダメ」とか「いけません」とかの禁止・注意の否定的な言葉はあまり使わず（注意事項を説明する場合は別）「そこはよく分からなかったみたいだね。もう一度説明するからよく聞いてね」など、問いかけるようにするとよい。
- 祈りの大切さを教える。

## ◎ 班をまとめるために

- 班員の中に仲間外れを絶対つくらない。
- 班長、生活係にも出来るだけ主導権を持たせ、自主性を育てる。
- はじめから班内で約束事をたくさんつくらずに、まず一つが実行されたところで、だんだん約束事を増やしていく。
- テキストの注意事項など、子どもに一つずつみんなに聞こえるように、大きな声で読み上げること。班の連帯感を築き、注意事項確認のためによい。

# 団体生活で大切なこと

## —規律正しい生活を送るために—

### ◎ 時間を守る

- 団体生活によるプログラム運営には時間厳守が大切です。
- リーダーは班員に5分前には集合し整列できるよう、時間を守るように促します。

### ◎ 集合のしかた

#### 整列

列がまっすぐになる  
ように整列します。



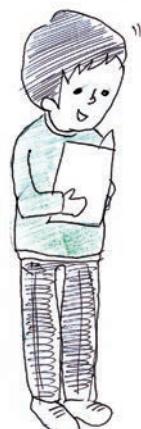
#### 点呼

班長は、班員が揃っているかを確認します。



#### 報告

班長は班員が揃っているのを確認  
したら、チーフリーダーに「○班  
全員揃いました」と報告します。



#### 待機

チーフリーダーは班が揃っているかを確認し、「○班  
揃いましたので座ってください」などの指示を出す。

※チーフリーダーが全体に言うことによって、他の  
班も早く並ばなければという意識も生まれます。

- この「整列・点呼・報告」を繰り返すことによって子どもたちの行動にメリハリがうまれます。
- 班長は最前列に、リーダーは最後尾に並ぶことによって班員全体をみることもできるようになります。

## ◎ 返事はしっかり

チーフリーダーや司会者が参加者の前に立って話している時に理解できているかを確認することができます。

「いいですか？」と聞いた場合、「はい！」と子どもたちが大きく返事をしてくれるまで聞き直しましょう。リーダーも手本となるべく大きな声で返事をしましょう。

### POINT

- i. チーフリーダーが話をしている時に、遊んでいたり、ざわついたりしている時は、すぐさまリーダーは「静かに！」「遊ばない！」「注目！」など全体的に注意し、子どもたちを集中させ、チーフリーダーが話しやすい環境をつくります。
- ii. チーフリーダーの説明が終わるまでは、動き出させないように注意しましょう。
- iii. 夏期学級では班行動が原則となります。自分勝手な行動をさせないように注意させましょう。体調不良やトイレ、水分補給等で班から離れる場合は必ずリーダーに連絡、許可をとらせるようにしましょう。

〈※執行体制の例と役割…39 ページ参照〉



# 大本のみ教えを伝える場をつくる

夏期学級は子どもたちに大本のみ教えを伝える場でもあります。

夏期学級のプログラムの中に講話、実習等で大本のみ教えについて学べる時間を持つてください。

## 【例】

### ○講 話

- 「夏期学級について」
- 「感謝の心」
- 「天地の恵み」
- 「神さまについて」など

### ○実 習

- 「朗詠」
- 「愛善歌」 など

### ○ミニ講話

(プログラムの前後に 10 ~ 15 分で話す)

- 「水の大切さ」コップ1杯の水で洗面を体験し、水の大切さを伝える。
- 「命の大切さ」魚のつかみ取りで命の大切さを伝える。 など



# 生活指導の仕方（項目別）

## ◎ 班別話し合い

□ 班分けができるから、班別話し合いを行います。

### 【例】班別話し合い

- 1、班員の自己紹介
- 2、班の役割を決め、係の役割を認識させる
- 3、プログラム説明と注意事項を伝える
- 4、班の目標を決める
- 5、班の目標、注意事項を反復させる
- 6、貴重品（ゲーム機・携帯電話も含む）をあずかる

□ 班の中で役割も決めると、より連帯感が生まれます。

（最低限、班長は決めましょう。以下、役割例）

#### 班 長

- ・班の中心となって班をまとめる
- ・集合する時は班の人数確認をして、チーフリーダーに報告する

#### 副班長

- ・班長と協力して班をまとめる

#### 生活係

- ・食事、寝るとき、掃除のときに班の代表となり率先して行動する

#### 記録係

- ・反省会のときなどに記録をする※副班長が兼務でも可

## POINT

団体生活の原則的なことは、途中から改めさせることは難しいので、開催の始めや班別話し合いで子どもたちによく認識させておきます。次の事項をよく説明しましょう。

- i. 夏期学級は、よい子になるための場であり、単なる遊びの場ではないということ
- ii. 団体生活であるから他人に迷惑をかけず、班行動をとること。すぐ集まること。
- iii. 高学年では、日程の前半に班をまとめ、自主性を導きだし、後半は班員の自主性を尊重しながらも次第に注意すべき点はハッキリ注意し、ややきびしい生活指導を行うとよい。

## ◎ 食事について

- 食事の前には手を洗わせる。
- ご飯は3回でつぐ
- ご飯やおかずが多く食べられない場合は、箸をつける前に食べられる子やリーダーまた、庶務にとりわけるようにする。
- 好き嫌いとなるべくなくしてもらうために、無理には食べさせなくても、少しは食べられるようにさせる。(アレルギーのあるものを除く)
- ご飯の食べくらべをさせない。(腹痛を起こす)
- 食事中は、肘をついたり、行儀が悪かったらその都度注意する。
- お米の一粒も粗末にしないようにきれいに食べさせる。
- 食事中は子どもはわりに心を開いて話すもの。気がかりな子どもがいれば、その隣に座り食事をしながら親しい関係をつくりだす。
- 全員での「ごちそうさま」が終わるまでは、席を立たせたり、寝転ばせたり、遊ばせたりしない。
- 「ごちそうさま」をしたら、班で協力して食器などを片付けると班の団結力が増す。
- イスに座ってご飯を食べる時はイスをひきずらないように注意させる。

### お菓子、ジュース等の飲食について

お菓子やジュースを食事の前に出すことは避けましょう。また、いつでも食べたり飲めたりできる状態にせず、決められた時間だけにしましょう。  
リーダーの許可なく勝手な飲食や買い食いはさせないこと。

## ◎ 清掃について

プログラムのなかで、清掃を行う場合は、全員が清掃できるように掃除道具の準備もしっかりとおくこと。

リーダーも一緒になって行い、掃除の仕方を教えるのもひとつ的方法です。

## ◎ 自由時間の使い方

自由時間は、班もしくは参加者の交流を深める場にしましょう。

- ◆ゲーム機や携帯などで遊んだり、個々の自由時間にしない。
- ◆子どもをほったらかしにしないように注意しましょう。

## ◎レクリエーションをする

みんなで遊べるレクリエーションをリーダーが提案し、行いましょう。

特別難しいレクリエーションを用意する必要もなく「ナンバーコール」などの単純なゲームでも充分盛り上がります。

子どもたちにやりたいレクリエーションを提案してもらったり、他の班と合同でレクリエーションを行うのも一つの手です。

〈※班内レクリエーション…40 ページ参照〉

## ◎ 荷物整理について

時間が経過すればするほど荷物は乱れてきます。

荷持が乱れたら、ところどころで、荷持整理をするよう指導します。

また、荷物は所定の位置を決め、固めさせます。

## ◎ 洗面・入浴について

◆水の恩に感謝し、お水を大切に使うように指導しましょう。

◆水を流しっぱなしにさせないように注意しましょう。

◆脱衣所を出る前に、タオルで体を拭くように指導しましょう。

◆リーダーは班員と一緒に入浴しながら、上記を伝えていきましょう。

## ◎ 反省会（班別ミーティング）について

一日を振り返り、反省する時間はとても大切です。

出来た点、出来なかった点を振り返り、悪かった点は改めようとすることにより魂は向上していきます。自主的に反省させるように導くことで子どもの行動はよりよくなっています。

リーダーは班全体での注意はかまいませんが、特定の子どもを注意しないように気をつけましょう。

### 【例】反省会の進め方

1、班員一人一人に下記のことを発表してもらう

◆今日1日の感想

- ・一番楽しかったことや印象にのこったこと
- ・辛かったこと、大変だったことなど

◆夏期学級の目標や班の目標は守れたか？

- ・夏期学級の目標は守ることができたか
- ・班の目標は守れたか
- ・もっと良い班にするには
- ・明日の目標

2、リーダーの感想

3、明日のプログラム説明

4、体調の確認

## POINT

### 班別反省会の進め方

- i. 引っ込み思案の子にはリーダーが合いの手をだして引き出してあげる。
- ii. 特に班の良かった点を中心に話をし、明日も班の目標を頑張れるようやる気をもたせる。
- iii. 反省会で子どもたちを興奮させるとなかなか就寝ができにくくなる。
- iv. 寝転んだり、ダラダラさせない。

### ◎ 就寝について

子どもは意外に疲れているものです。22:00までには就寝できるようにしましょう。就寝指導の係をつけ、就寝の監視を行いましょう。

子どもに段階を経て寝かせるために、次のような方法もあります。

- ① 寝床に入ってからすぐ消灯しないで、寝るための心の準備時間を子どもに次のように与える。「10分間時間を与えますので、身のまわりを片づける人、トイレに行く人は、行ってください」といって、用事のあるものは、この間にさせる。
- ② 10分間が過ぎると、さらに「5分間だけ床の中でおしゃべりなど、好きなようにしてよろしい」といい、好きなことをさせる。
- ③ 5分たら「約束の5分が過ぎました。では約束通り電気を消します」とといって電気を消し、静かに寝るように言い、そのまま部屋の中央に待機する。
- ④ 子どもたちの話し声が聞こえると、その枕もとの近くにいき黙って見守る。
- ⑤ 子どもたちが、完全に就寝したら退席する。
- ⑥ 夜尿症の子どもがいれば事前に場所を確認しておき適度な時間に起こしてやること。
- ⑦ 寝冷えをしないように毛布を掛け直してあげる。

# 危機管理について

## ◎ 健康管理

- 申込みや受付時にぜんそく、アレルギー、持病等の確認をしておくこと。
- ぜんそくの子には必ず吸入器を持参してもらうこと。
- 参加者には保険証を持参してもらい、受付時に預かること。
- 子どもたちの体調の変化に気をつけること。
- 班員の健康状態を常に執行部に連絡すること。
- 熱中症対策のため、いつでも水分補給できるように準備をしておくこと。
- 外で活動するときは帽子を着用させること。
- 救急箱を用意すること。（風邪、熱、頭痛、腹痛、目薬、酔い止め、虫刺され、外傷等）
- 病院の連絡先、所在地をあらかじめ調べて把握しておくこと。
- 野外の生水はぜったいに飲ませない。
- 山、野外等での危険な箇所はあらかじめ把握しておくこと。
- キャンプ場（野外）の朝晩は冷えるので、長袖の服を持参させること。

## ◎ 海や川での諸注意

海や川で遊ぶ場合は、以下の点に注意してください

- 体の具合が悪い子は泳がせないこと。
- 準備体操を行うこと。
- 水泳帽子やバンドなどの目印をつけさせること。
- 泳げない子は持参した浮き輪等を持って泳がせること。
- チーフリーダーは休憩等の合図に笛を使用するとよい。
- 溺れている子を発見したら、すぐさま笛で合図をとり、近くの係員に救助にいかせる。
- 救助用の浮き輪を用意しておくこと。
- 適度な休憩時間をとりその都度、点呼をおこなうこと。
- 境界線ごとに大人の見張り役を必ずつけること。

# 補 足

## ◎ 夏期学級開催奉告祭の持ち方

開催奉告祭を行う前にお礼拝の意義と仕方を説明します。

お礼拝の仕方は、リーダー等にモデル（見本）になってもらい、正座の仕方から揖や拝、四拍手の正しい作法を教えましょう。

参加者を代表して玉串奉奠をする子たちには、開催奉告祭が始まる前に個別に時間をとり玉串奉奠の仕方を指導します。

### 【例】夏期学級開催奉告祭式次第

1、祭員入場

2、祓式行事

3、夏期学級開催奉告祭祝詞奏上

4、玉串奉奠

【順番例】①斎主 ②機関代表 ③本部講師

④係員代表（誠心会、直心会、青松会等）

⑤リーダー、少年参加者代表（参拝者代表）

5、天津祝詞奏上・ご神号奉唱

6、讃美歌齊唱

※神饌物は祭典前に、お供えしておく

7、祭員退場

※斎主用の玉串案、円座等は、はじめから備えておく

※夏期学級開催奉告祭祝詞は斎主用玉串案の上に

### 大神様 5台の場合【例】

①米・酒・塩・水 ②餅、海の物、海藻類（餅、昆布、わかめ、じゃこ等）

③甘菜（人参、ほうれん草等）、辛菜（大根、ピーマン等）、山の物（しめじ、椎茸等）、野の物（茄子、トマト、じゃがいも等） ④果物（夏みかん、バナナ等）、⑤お玉串

### 祓戸様 3台の場合【例】

①米・酒・水・塩 ②餅、海の物、海藻類（餅、昆布、わかめ、じゃこ等）

③甘菜、辛菜、山の物、野の物等の野菜類と果物

### 祭員 2～3名の場合【例】

◆2名の場合

・斎主 1名

・祭員 1名（祓主・昇神司・降神司・警蹕司・大麻司・玉串後取・玉串案後取等）

◆3名の場合

・斎主 1名、祭員 2名

祭員 1（祓主・昇神司・降神司・大麻司）、祭員 2（警蹕司・玉串後取・玉串案後取等）

## ◎ 夏期行事成功祈願祭祝詞【例】

大本青年部公式HPよりダウンロードできます

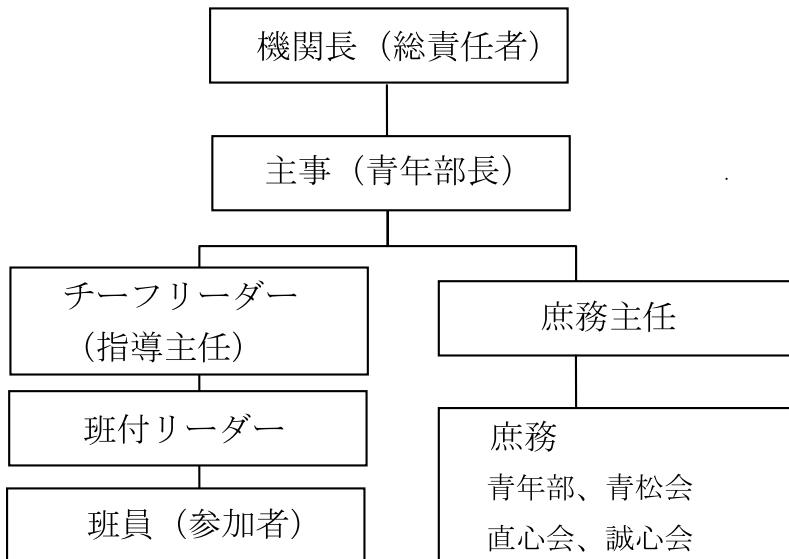
掛けまく　あや　かしこ　おほもとすめおほみかみ　うづ　おほまへ　いはひなし  
掛巻も綾に恐き大本皇大御神の宇豆の大前に　斎主　伊慎しみ  
みやま　かしこ　かしこ　まを　すめおほかみ　ひろ　あつ　みたまのみゆ　かがぶ　まつ  
敬ひ恐み恐みも白さく　皇大神の広き厚き恩頬を蒙り奉りて  
このなつ　ためし  
今夏も例のまにこれの（○○本苑・分苑・主会）は○月○日か  
ら〇日の間（○○本苑・分苑神の家）と○○○○を会場に「大本少年  
かきがつきゅう　ほど　ほんえん　ぶんえんかみ　はづきじう　さんぢ　みつか　ほど　すがどんおんざよう  
夏期学級」を開催し　また八月十三日から三日の間　聖地天恩郷にて  
もよほ  
開催される「第〇回大本〇年祭」に参加することになりければ　今日  
いくひ　たるひ　なつのもよほしごと　じょうじゅう　こひのみまつ  
の生日の足日に夏期行事の成就を乞祈奉らむと　御前に種々の  
ためつもの　おきた  
多米津物を置足らはして　弥言竟へ奉らくを平らげく安らげく聞食し  
あひうな　たま　つど　おほもと　わらべわかうど  
相諾ひ給ひて　集へる大本の少年青年らが身健康にまして　豊けく  
おも　でふか　みのりあり　はたらき  
思ひ出深き成果有らしめ給ひ　身も魂も喜び勇みて安泰く平穏に  
とほど　かみ　こ　はたらき  
尊き神の子としての活躍なさしめ給ひて　今ゆ後大本青年部は弥益  
た　さか　たま　よ　まも　ひ　まも  
に立ち栄へしめ給へ　夜の守り日の守りに守り　幸へ給へと恐み恐  
みも乞祈奉らくと白す  
こひのみまつ　まを

## ◎ 夏期学級開催奉告祭祝詞【例】

大本青年部公式HPよりダウンロードできます

かけまく　あや　かしこ　おほもとすめおほみかみ　またかむながら　まみちいや　ひろおほいつき  
国直靈主命の宇豆の大前に（斎主）　伊）恐み恐み  
まを　おほかみ　おほみめぐみ　かかぶ　まつ  
も白さく大神の大御恵を蒙り奉りて此度大本教団の  
わこうどらまいきつど　けふ　あいだ  
青・少年達参来集ひ今日より〇日の間　に  
くになおひぬしのみこと　うず　おほまへ　いわいぬし  
掛巻も綾に恐き大本皇大御神又惟神真道弥広大出口  
みまへ　おほもとしょねんかきがつきゅう　ひら  
も白さく大神の大御恵を蒙り奉りて此度大本教団の  
わこうどらまいきつど　けふ　あいだ  
於て大本少年夏期学級を開催くことの由奏上奉るとして  
御前に種々の多米津物を置き足らはして　称言竟奉らくを平  
らげく安らげく聞食し相諾ひ給ひ尊き神教は教主の  
みこころ　まいま　ひろ　うみ　うちと　ひらげ　とき　よろこ　いさ  
御心の任に広く海の内外に發展ゆく時期と喜び勇みて  
少年等はリーダー係員講師の導きの任に枉事なく良く学  
らげく安らげく聞食し相諾ひ給ひ尊き神教は教主の  
みこころ　まいま　ひろ　うみ　うちと　ひらげ　とき　よろこ　いさ  
御心の任に広く海の内外に發展ゆく時期と喜び勇みて  
少年等はリーダー係員講師の導きの任に枉事なく良く学  
び良く遊び修めて大本の御教を悟らしめ給ひ一靈四魂と  
五情の全き活動により強くたくましく実践躬行将来は社会  
に立つ靈止とならしめその本分を尽さしめ給へ夜の守り日  
に立つ靈止とならしめその本分を尽さしめ給へ夜の守り日  
の守りに守り幸はへ給へと恐み恐みも乞祈奉らくと白す  
こひのみまつ　まを

## ◎ 執行体制の役割【例】



## 役割

**機関長**：夏期学級運営の総責任者

**主事**：夏期学級の遂行責任者。チーフリーダー、庶務主任、渉外担当への指示。障害発生時の対応。企画運営の際には必ず主事の許可のもと、進めるように注意すること。青年部長が担当することが多い。

**チーフリーダー (指導主任)**：夏期学級のプログラムの推進者。参加者の生活指導、班付リーダーへの指示。夏期学級のしおり作成の責任者。班付リーダー用の詳細プログラム作成。リーダー経験者が望ましい。

**班付リーダー**：参加者と一番近くで触れて世話をする。参加者と生活を共にし、開催中の実際の生活指導にあたる。

**庶務主任**：夏期学級のプログラムを円滑に推進するための準備に関する責任者。庶務スタッフに具体的な指示をする。誠心会、直心会、青松会に具体的な協力を依頼する。メインプログラムにそって、詳細プログラムを作成。

**庶務スタッフ**：庶務主任の指示のもと、各行事の準備、食事、宿泊などの係となる。縁の下の力持ち的存在。ゲーム大会やオリエンテーリングなどのお楽しみ行事、飯盒炊飯等の各行事担当者は、備品の準備や詳細の作成を担当する。

**※副主任**：チーフリーダー、庶務主任の下に、それぞれサポート役として副主任を置くこともある。特に庶務の場合はプログラムによって仕事の範囲が大きくなるので、会計・救護・食事・運転・記録・渉外・宿泊準備など役割を分担すると動きやすい。

## ◎ 班内レクリエーション

### ①ナンバーコール

夏期学級での鉄板ゲーム。期間中、このゲームだけでも充分に盛り上がれます。

#### 【方法】

- 1、参加者一人ひとりに1から番号をつけ、誰から始めるかを決めます。そしてゲーム開始！
- 2、みんなで「ナンバーコール！」と発声、その後にぱんぱんと2回手を叩きます。そのあと1番の人が「1、8！」とか「1、6！」のように数字を二つ続けて言います。この数字の意味は次のようになります。  
    初めの「1」 = 自分に割り振られた番号  
    後につける「数字」 = そこに参加している自分以外の人の番号
- 3、全員で2回拍手。
- 4、先ほど番号を言われた人が数字を言います。(つまり「1、8」の場合は「8」の人、「1、6」の場合は「6」の人) それも初めと同じようにまず自分の番号を言ってからほかの人の番号を言います。こうしてぐるぐる回していく、詰まった人が負けです。つまり、簡単に示すとつぎのような流れになるわけです。

「ナンバーコール！」(ぱんぱん) 「1、8」(ぱんぱん) 「8、6」(ぱんぱん) 「6、2」(ぱんぱん) 「2、4」(ぱんぱん) 「4、8」(ぱんぱん) 「8、1」(ぱんぱん) 「1、・・・」  
←詰まつたので負け。

#### 【バージョンアップルール】

##### 1、隣の番号禁止ルール

「1、2」や「3、4」または「6、5」や「1、9」(9人でやっている場合・モチロン「9、1」も同じ)など自分の隣の人の番号を言ったら負けというルールです。隣の番号を言うのは非常に簡単なので、このルールはつけておいたほうがいいでしょう。

##### 2、折り返し禁止ルール

「1、6」のあとに「6、1」ということや「2、8」のあとに「8、2」のように振り返すのを禁止したルールです。振り返し合戦になりがちなのでこのルールもつけておいたほうがいいでしょう。

##### 3、番号が変わるルール

負けた人が番号1か一番大きな数字の番号にかわるルールです。抜けたところはつめます。人もそのように移動します。番号がゲームごとに変わるので、結構難しいです。でも、白熱します。

#### 【数字を言う時のアクション】

最初に自分の番号を言う時、右手を親指だけ立てて握る。次の他の人の番号を言う時は、左手を親指だけ立てて握る。

## ②ピンポンパンゲーム

### 【方法】

- 1、誰から始めるかを決めます
- 2、最初の人が「ピン」と発声。時計回りに次の人が「ポン」。同じく時計回りで次の人が「パン」と発声します。この時、最後の人は「パン」と発声する際に、自分以外の誰かを指さします。指された人「ピン」と発声する。
- 3、この流れを繰り返します。  
「ピン」「ポン」「パン」の順番を間違って自分の番以外で発声をしてしまったり、タイミングをずらしてしまったり、パンの時に指ささなかつたら負けです。

## ③リズムゲーム

### 【方法】

- 1、始める前に、各々のプレーヤーの「呼び名」2文字を確認します（「呼び名」が2文字の理由はリズムを取りやすくするため）。その後じゅんけん等で親を決めます。
- 2、手を使って全員でリズムを取ます。リズムは4拍子で、1拍目は両太ももを両手で叩き、2拍目は手拍子、3拍目は右手を、4拍目は左手を握ります（3・4拍目の手はナンバーコールと同じ）。
- 3、ゲームのスタートとなる掛け声、「《親の呼び名》、から、はじ、まる、リズ、ムに、合わ、せて（8拍）」を全員で言います。
- 4、親は次の4拍を使って他のプレーヤーを指名する。指名の方法は、リズムの3拍目に他のプレーヤーの呼び名、4拍目に1から4の数字を指定します。
- 5、名前を呼ばれた者は、次の4拍のリズムに合わせて、親が4拍目に指定した回数分だけ自分の呼び名繰り返す。ただし、指定回数が1なら4拍目に、2なら3・4拍目に、3なら2・3・4拍目に、4なら1・2・3・4拍目に言います。
- 6、呼ばれた者が、自分の呼び名と回数をリズムに合わせて間違えずに言えると、その人が親になります。以後、4から6を繰り返します。ここで間違えた場合、その時点で負けです。

## ④野菜屋さんゲーム

### 【方法】

- 1、誰から始めるかを決めます
- 2、全員で歌を歌います。「野菜屋さんのお店に並んだ品物を見てごらん。よく見てごらん。考えてごらん」
- 3、歌い終わったら、最初の人は野菜の名前を言います（例=トマト）。
- 4、続いて、全員で2の歌を歌います。
- 5、次の人は、先に前の人が言った野菜を言ってから言います（例=トマト。キュウリ）。
- 6、この流れを繰り返します。野菜の名前はどんどん増えていきます。間違つたり、詰まつたりすると負けです。

## ⑤古今東西

### 【方法】

- 1、お題（例=国の名前など）と誰から始めるかを決めます
- 2、時計回りにそのお題に沿った答えを出していきます。
- 3、一度出た答えを言ったり、詰まつたりすると負けです。

## ⑥牛タンゲーム

### 【方法】

- 1、誰から始めるかを決めます
- 2、「牛」は発声。「タン」は手をたたきます。
- 3、最初の人が「牛」と発声し、隣の人が「タン」と手をたたきます。その隣の人が「牛」と発声し、またその隣の人が「タン」と手をたたきます。またまた隣の人が「牛」と発声し、その隣の人が「タン」と手をたたきます。その次の人も「タン」と手をたたきます。

一周の流れは「牛・タン・牛・タン・牛・タン・タン」となります。

- 4、2週目から最後の「タン・タン」が一つずつ増えていきます。  
2週目「牛・タン・牛・タン・牛・タン・タン・タン」  
3週目「牛・タン・牛・タン・牛・タン・タン・タン・タン」というようになります。
- 5、誰かが間違うまで続けます。

## ⑦7パン

### 【方法】

- 1、誰から始めるかを決めます
- 2、順番に1から発声していきます。
- 3、「7」がつく数字と「7の倍数」の時だけ手をたたきます。
- 4、誰かが間違うまで続けます。

# 夏期学級感想文集より

## 「学んだたのしかった夏期学級」(小学4年生 女子)

大本少年夏期学級が四日間ありました。初めて、会った子どもも、仲良くなれました。

神さまのお話のとき、水や空気を作ったのは、神さまと教えてもらいました。

今まででは、朝夕拝で普通に祝詞を読んでたけど、神さまに「ありがとうございました」ということを思いながら祝詞を読むようになりました。

天津祝詞は、一番美しい言葉と教えてもらいました。今年、大本のことをたくさん学びました。班のみんなと遊び、しゃべりたくさんの思い出ができました。

カレー作りやスタンツもカンペキにできました。カレーは、みんな「おいしい」といつていました。

スタンツもみんな笑いながらできました。

三班も四日間楽しかったし、大本のことも知ったし、楽しく遊べてうれしかったです。

今年、新しい友達とも大本のことが知れてうれしかったです。



## 「夏は楽しいな！！」（小学5年生 男子）

夏期学級で学んだことはいっぱいあります。

最初のおまいりはいやだなあと思っていたけど、どんどんやっているうちにおまいりが楽しくなってきました。班も仲のいい友達といっしょになれたので良かったです。とても楽しかったのは、海水浴やゲーム大会です。逆に疲れたのもあります。それは朗詠です。朗詠の一時間の正座は辛かったです。

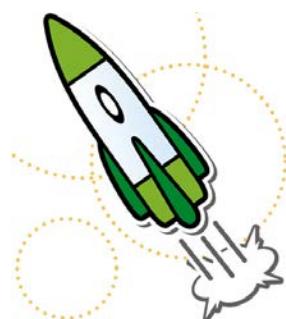
これからいかしたいことは、「はきものの始末」です。理由は、僕は家で靴を揃えていないので気をつけたいです。

もう一つは「あいさつ」で、夏期学級に来たら、一度もあいさつをできなくて、ようやく二日目の夜にやっとあいさつができるようになりました。ちょっと、気付くのが遅くなっていたのでいけないと思いました。

三日目のペットボトルロケットもいい思い出に残りました。

こんな夏期学級は“みんなの笑顔があつまる大切な場所”の一つだと思います。

この三日間とても楽しく笑顔で過ごせていたと僕は思います。



## 「楽しく、学んだ夏期学級」（小学6年生 男子）

僕は、友達に「夏期学級いっしょにいこ！」とさそわれ、一緒に夏期学級に行きました。そして、僕はいろいろなことを学びました。

一つ目は、目標にもあったことで、「感謝をして過ごすこと」です。僕は今までごはんを食べられることはあたりまえだと思っていました。でもそれは、火、土など全てが天のお恵みだということをはじめて知りました。この心がけを普段の生活の中でも忘れずにいていきたいです。

二つ目は、僕の少し苦手な「あいさつ」。僕は、あいさつはできているけど心があまりこもっていないことを感じました。あいさつは、やっぱり笑顔で元気よくできるといいと思いました。

三つ目は、「はきものの始末」です。僕は整理整頓が苦手だけれど、これからは、はきものも、家の中の整理もしっかりきっちりとやっていきたいです。

この三つのことを学んで夏期学級に来て、本当に良かったと思いました。

そして一番よかったですと思ったことは、友達がいっぱいできたことです。仲間で助け合っていく、それが本当の友達だと思いました。でも今日でお別れなんて少しうましい気がします。でも来年、僕たちは中学生です。また友達ができるのを楽しみにしています。

やっぱり友達っていいものだなと感じました。

この三日間で学んだこと全部を、普段の生活の中でもいかしていけたらいいと思いました。



## 「共に学んだ仲間たち」（小学6年生 女子）

私は、今年が一番楽しい夏期学級になったと思います。

四日間という短い期間で、思い出がたくさんできました。絵をかく時間もないほど、ハードなスケジュールで、いつもは「もうこんな時間」と思うことが多い中、期間中は、時間がたつのがイヤなくらい、一つ一つのプログラムを楽しめたと思います。

班員とは、みんな仲良くなれて、カレー、スタンツ、砂の芸術をする時、みんなが同じ思いでいどめたと思います。いつもは、笑っているみんなの顔が、真剣になったと感じました。

そして「はきものの始末」「あいさつ」などのみんなが忘れかけていた、人として当たり前のことをこの夏期学級が、教えてくれたと思います。テレビもゲームもない団体行動が自分を成長させてくれると改めて感じました。

また、日々のたくさんのおまいりは、正直キツイと思うこともありました。でも最後になると一つ一つに意味があったと気づきました。

最後に、一緒に、遊び笑わせてくれた班員、やさしく見守ってくれたリーダー、裏で気付かないことでもしっかり見て、支えてくれた庶務のリーダー、中心となってひっぱってくれたチーフリーダーなど夏期学級にかかわって、見守ってくださった人たちに感謝します。

「ありがとう」





# 夏期学級の基本

— 夏期学級指導要綱と生活指導について —

発行・編集：大本青年部

平成 26 年(2014) 3 月発行